

# 博物館だより



No.162

令和2年5月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行  
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13  
TEL 0930-33-4666  
FAX 0930-33-4667

## ◆博物館NEWS

### ①「秘蔵のお宝」も手軽に拝見 WEB博物館「みやこ町文化遺産」 新規メニューの追加で さらに充実のページへ！

博物館の公式HP「みやこ町デジタルミュージアム」のサイドメニュー「みやこ町文化遺産」は、「ガラスケースから取り出した資料展示の実現」をコンセプトに、注目の資料を高精細画像や3D画像に収めてWEB上で公開し、ふるさとの宝を身近に感じてもらえるツールを目指しています。

このたび、みやこ町文化遺産活用実行委員会監修のもと各所蔵者のご理解を得て、注目の資料多数の公開が実現の運びとなりました。「名前は聞いたかな？でも実物は知らない…」「有名なしいけど、まさか手には取れないでしょ」といった資料が、ご利用のパソコン

画面上で気軽にご覧いただけます。ぜひご覧下さい！

- 主な公開資料「新規分のみ」
- ・胎蔵界曼荼羅図(国分寺所蔵)
- ・当麻曼荼羅図(曼陀羅寺所蔵)
- ・此見大塚古墳出土単鳳環頭大刀(九州歴史資料館所蔵)
- ・豊前国分寺上空及び三重塔(パノラマビュー)(鳥瞰)映像



▲胎蔵界曼荼羅図(国分寺所蔵)  
スタート画面(右)の矢印部分をクリックすると画像へジャンプ

### ②今年の春の風物詩鑑賞は我慢の一言 民俗芸能・行事の公開中止情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止対応のため、例年町内各所で行われる左記の民俗芸能・行事の中止が決定しています。

残念ではありますが、地域や関係者全員の安全を確保するための措置であり、皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

- 豊前神楽(笠畑・上伊良原・上高屋・光富・横瀬)
- 豊国楽(下伊良原)
- 「生立八幡神社山笠」行事(犀川地区)

※紹介は5月期の指定文化財行事のみ  
※お詫びと訂正：博物館だよりNo.161で紹介した文化財修理機関名が「国宝修理装飾師連盟」となっていました。訂正して「国五修理装飾師連盟」です。確認が不十分でした。訂正してお詫び致します。

### ③博物館の今後のコロナ対応情報 緊急事態宣言への対応について

4月末現在、博物館は右宣言を承け5月6日(水)まで臨時休館しております。特に5月2日(土)・3日(日)は完全休館とし、窓口対応も休止いたします。

宣言が解除された場合は7日(木)から開館予定ですが、情勢によっては休館が継続される場合もありますのでご注意ください。

なお、現在電話等による各種照会には対応しておりますが、右情勢のため、多少の滞りが生じる場合があります。ご了承ください。

## ◆講座・教室催し物ガイド 5月の歴史講座(★仮予定)

- 【古文書講座】  
5月9日(土) 10時～
- 【古典かな講座】  
5月16日(土) 9時30分～
- 【みやこ学講座】  
5月23日(土) 10時～

※新型コロナウイルス拡散防止対応に伴い日程等変更となる場合があります。※見学会等は別途通知します。

## 友の会定期総会について

令和2年度の「博物館友の会定期総会」は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、書面開催の方向で調整を進めております。

なお、会の発足25周年を迎えるの記念行事は、情勢が落ち着くまで延期とされましたので併せてご了承のほどお願いいたします。

## 博物館友の会で「楽習」を！

博物館友の会は「故郷を楽しく学ぶ」をモットーに見学会や各種イベントを行っております。関心のある方ならどなたでも参加OK。お気軽にお申込みを！

入会の方法  
博物館窓口で受付けています。  
窓口で会費を納入下さい。

年間会費  
個人会員 3000円  
家族会員 1名2000円  
お問い合わせ先  
博物館 ☎33-4666

## 2・3月の業務日誌から

3月、城井小学校が144年の歴史に幕を閉じることになり、児童が中心となって先生、保護者、地域の方々と共に、学校や故郷の史跡や伝統行事などを調べてカルタを製作しました。札絵も丁寧に手書きされたもので「郷土愛」にあふれたカルタが完成しました。

2月26日(水)別府大学の下村教授の研究室の研究生が来館し、町内から出土した資料の3D計測調査を行いました。計測データを基に3Dプリンターで立体コピーの製作も可能で、調査中もいくつかの興味深い発見をすることができました。



▲計測データから復元した形状をパソコンで確認 総部まで正確です



▲カルタ作りを通して改めて故郷のすばらしさを知ることができました

みやこの歴史発見伝 125

令和とその時代 ⑥

「古代のみやこにみられる  
疫病と医療の歴史①」

る史跡「国分寺」建立の経緯をはじめ、古代のみやこの町の人々が病と向き合い、克服してきた歴史をご紹介します。

天然痘の流行

「新型コロナウイルス」の脅威  
新型コロナウイルスが猛威を振るい、国内外を問わず多くの感染者が発生し、終息の目途が立たない中、日常生活をはじめ政治・経済活動に大きな影響を及ぼしています。

令和の歌が詠まれた奈良時代は、華やかなイメージを連想する方も多いと思いますが、天然痘という伝染病が国内全域に広がり、今日と同様に、国を震撼させる事態が生じました。この

国難を仏教の力によって鎮めることを目的として全国60あまりの国々に建立されたのが「豊前国分寺」に代表される国分寺で、その総国分寺が「奈良の大仏さま」で有名な東大寺です。

この東大寺で、新型コロナウイルス蔓延の早期終息を目的として祈る「疫病退散」の勤行が3月1日から行われ、全国各地の社寺に宗教、宗派を超え共に祈りを捧げることを呼びかけ、多くの賛同が寄せられています。今回から、みやこ町を代表す

の乱)。乱の詳細を記録した文献には関係者の名が記されていますが、この中には、みやこ町やその周辺を拠点とした京都郡及び仲津郡の郡司（郡の長）の名も含まれており、乱が豊前国（現在の北九州市から大分県宇佐市周辺にあたる地域）一帯に及ぶ範囲に影響したことがうかがえます。広嗣はこの地域の民衆の支持を集めていたとみられ、犀川大坂にある「飯嶽山」の呼称は広嗣によるものと

天平7年（735）から大陸が始源地とみられる天然痘が国内で流行し、日速約25kmの速さで国内各地にその範囲を広げたと伝えられています。今回の新型コロナウイルスと同様に典薬寮（現在の厚生労働省にあたる）が高熱の対処法などの指針を発令していますが、当時の国内の総人口の35%にあたる約150万人以上の人々が感染によって死亡したと推計されています。

国分寺造営の背景と京都郡

その後、政権の枢要部を占める人物にまで天然痘が蔓延し、国を揺るがす非常事態に陥ります。追い打ちをかけるように、

国中で凶作や地震などの天変地異が発生しました。このような状況の中、大宰府の官人であった藤原広嗣は、これらの元凶が政権中枢の大臣等に起因すると

して、その追放を要求。天平12年（740）一万人の兵士を率いて現在の北九州市周辺を舞台に反乱を展開します（藤原広嗣

る大仏を造立しました。

た。世界でも教会などの封鎖が相次ぐなど、今回の「疫病」は人々から「祈り」という精神的な支えまで奪いとるといった稀に見る恐ろしさを感じ取ることができます。

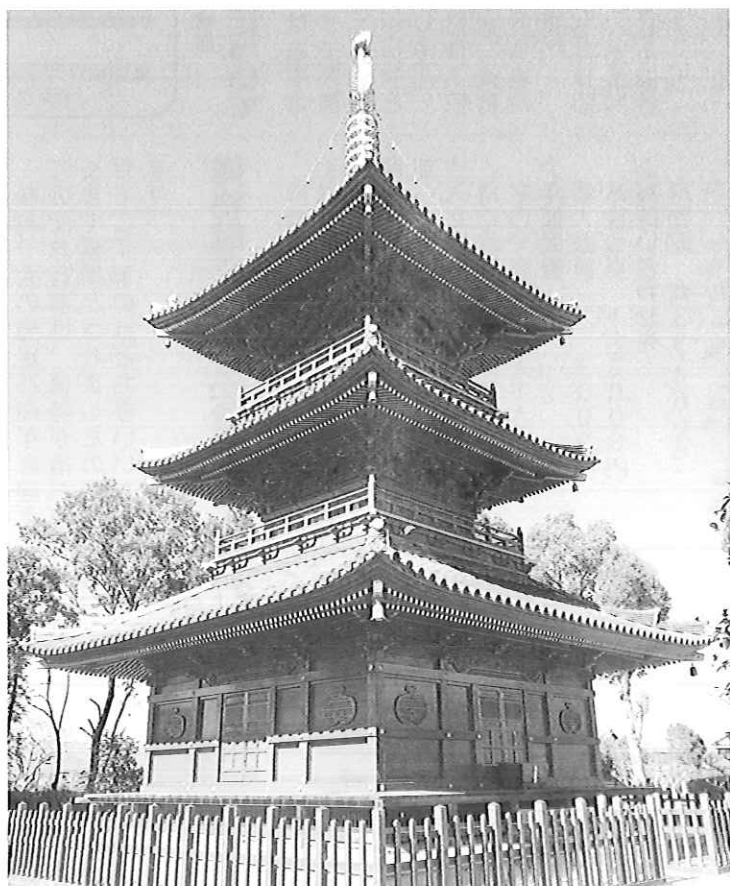
その後、反乱は鎮圧されますが天皇は大変なショックを受けます。このような政治的に不安定な状況の打開策として、聖武天皇は自身が深く信仰していた

仏教の力によって国を鎮めることを目的として全国の60あまりの国ごとに国分寺の建立を命じ詔を發布。東大寺をその総国分寺として、そのシンボルとな

国分寺建立の経緯を振り返ると現在進行している状況と共通する部分が多くみられ、その祈りの拠点としてこの寺院が建立されたことを考えると、改めて万葉の人々と同様に早期終息を祈らずにはいられません。

その一方で、大阪にある四天王寺では、聖徳太子の創建以来約1400年の歴史上、はじめて寺を閉鎖する事態となりました。

（井上信隆）



▲豊前国分寺三重塔